

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	エコオフィスなると推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第3次鳴門市地球温暖化対策実行計画「エコ・オフィスなると」、鳴門市環境基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 13 年度	
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			終期	未定
(小項目)		エネルギー使用				
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進				
基本事業	1	地球温暖化・省エネ対策の優先的実行				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民、鳴門市役所、学校等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電気や燃料の使用量を削減し、温室効果ガス排出量を削減していく。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	第3次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づく施策として、市民への啓発として緑のカーテンコンテストの開催や市役所内でのノーマイカーデーやクールビズ等を推進するとともに、エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図る。また広報なると等を通じて、市民や事業者の方への節電の啓発に取り組む。 第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画(計画期間:平成28年度～平成32年度)の策定に向けた調査・検討を行い、同計画を策定する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)(平成27年度実績は速報値)	15,284.4	15,091.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第3次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づく施策として、市民への啓発として緑のカーテンコンテストの開催や市役所内でのノーマイカーデーやクールビズ等を推進するとともに、エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図った。また広報なるとを通じて、市民や事業者の方への節電の啓発に取り組んだ。 また平成28年度から平成32年度の取り組みを定めた第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画を策定した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	1 電力使用量	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
		2 温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	18,220	18,105	21,400	21,400	21,400	千kWh
成果指標	対象にどのような効果があったか示す指標	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)(平成27年度実績は速報値)	15,543.3	15,288.0	—	—	—	t
		目標達成率(実績/目標)		98.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	2,565	2,565
		全体予算額	0	0	0	0	65	65
		決算額	0	0	0	0	60	60
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
	0.4	0.5		3,779		3,839		

【事務事業名：エコオフィスなると推進事業】

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	62	60	70	70	70
	うち一般財源	62	60	70	70	70
	人件費	3,763	3,779	3,779	3,779	3,779
	総事業費	3,825	3,839	3,849	3,849	3,849

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		温室効果ガス排出量削減のため、緑のカーテンやノーマイカーデー、クールビズ等の各種取り組みを実施した。
	効率性	B:概ね効率的だった		各所属におけるエコ推進員との連携により、効率的に各種取り組みを実施した。
②成果に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)(平成27年度実績は速報値)		目標値は達成できなかったが、前年度より温室効果ガス排出量は削減した。
	目標	15,092	t	
	実績	15,288	t	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		目標値は達成できなかったが、クールビズ等の各種取り組みを実施することで、前年度より温室効果ガス排出量を削減することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市職員が環境に配慮した行動を率先して実行することにより、市民や事業者等への啓発を図るとともに、市民・事業者等の行う環境に配慮した自主的な取り組みを促していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づく施策に取り組む。			
	平成29年度	第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づく施策に取り組む。			